定性的評価（質的評価）の重要性

・各大学が上記の情報を評価するに当たっては、評価の妥当性を学内外に説明できるようにする等の観点から、各情報の評価に横断的に用いられるルーブリックや学修ポートフォリオ等をはじめとして、具体的な評価方法をどのように用いたか明確にすること、複数の手法を適切に組み合わせつつ活用することが、より一層高い水準で求められることになる。（論点整理2017）

KUBS学修ベンチマークルーブリック（大学協議会後者正　最終確定版）2018/3/19

項目	項目の説明	1	2	3	4	5	具体的に例示する活動例	
(1) 自律的で主体的な態度（自律性）	自分の目標をもち、その実現のために、自らを律しつつ意欲的に行動することができる	自ら目標をもち、主体的に計画・実行・評価を繰り返し、問題を自ら、なかまや教員に相談することができる	自ら目標をもち、主体的に計画を立て、他ひとの意見や情報を参考にしつつ、実行することができる	与えられた課題に対して、計画を立てて、実践することができる	与えられた課題に対して、ひとに手伝われて計画することができる	・日々の学習計画をふりかえるとき ・授業で課題にぶち当たったとき ・学園祭など、大きなイベント ・リフレクションシートで事柄ごとにふりかえるとき　など	・ラーニングルートマップ ・スケジュール ・ポートフォリオ（成長確認シート） ・ポートフォリオ（記事（自律的で主体的な活動）
(2) 社会に貢献する態度（社会的責任性）	集団や社会のために、他者とともに行動し、貢献することができる	他者と協働しながら、集団や社会への貢献に、より多くの人が参加できるように意欲することができる	他者と協力しながら、集団や社会への貢献に参加することができる	他者と協力しながら、集団や社会への貢献に参加することができる	周りの様子を見て、自分で、または、ひとに手伝ってもらうことができる	・授業のグループワーク ・CS、CS、演習などの現場活動 ・クラブ、学生会、学園祭などの正課外活動　など	・グループワークのふりかえりワークシート ・演習ノートや、教育ポートフォリオの書き込みレポート ・チームワークルーブリックで評価された課題 ・ポートフォリオ（記事（地域や社会に貢献した活動）　など
(3) 多様な文化やその背景を理解し、受け容れる能力（多様性理解）	世界に広がる人々の文化や社会が多様であることに理解を深め、世界市民として行動できる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を尊重し、違いを生かした社会的不正義の解決に貢献することができる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を尊重し、なかまとともに、その人々と交流することができる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々のなかに、文化的背景を理解、尊重することができる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々のなかにいることを理解、違いがあることを理解することができる	・多様性を考える授業 ・CS、CS、演習等などの教育系プログラム ・留学 ・自分が生きてきた地域とは異なる地域の人々との交流 ・海外出身の人々との交流　など	・多様性理解ルーブリックで評価された課題 ・演習ノートや、教育ポートフォリオの書き込みレポート ・ポートフォリオ（記事（多様な文化や社会に関する活動や学び）　など
(4) 問題発見・解決力	複数にもとづいて、問題を発見したり解決のアイデアを構想したりする思考力や問題解決力を身につけ、問題を解決することができる	複雑な課題をかかえ、、複雑の原因を究明して、論理的に整理し、解決のための情報を行い、実行できる	データもとにして、課題の原因を見出すため、論理的な解決策を提案できる	曖昧な課題であっても、主要な問題を見極め、論理的な解決策を提案できる	社会の中で課題となっている事柄を、客観的に理解し、解決のための提案を考え、ひとの意見を出すことができる	・問題発見・解決型の授業、レポート作成、テスト ・CS、CS、演習、実習などの現場活動や調査活動 ・クラブ、学生会、学園祭などの正課外活動で学生同士、教職員、地域の人々、職員との協働	・学修成果の評価ルーブリックを用いた検証 ・リサーチルーブリックを用いた検証 ・クリティカルシンキングの課題レポート ・評価された問題発見・解決型の課題レポートのプレゼンテーション ・学習成果試験の論述問題の採点結果 ・ポートフォリオ（記事（問題発見、論理的思考の論理的判断、問題解決のための視点）などを行った活動）
中項目	問題発見力	複雑な課題をかかえ、、複雑の原因を見出すため、それらの問題を整理することができる	複雑な課題の原因を見極めることができる	曖昧な課題であっても、主要な問題を見極めることができる	社会の中で課題となっている事柄を、理解することができる		
	整理・思考・判断力	論理的に整合するように、自らの主張を論証できる	データもとに、論理的な意見や、解決策を提案することができる	根拠を示しつつ意見やあり方を示すことができる	自のことを客観的に捉え、事実と意見を区別することができる		
	問題解決力	課題の背景やその原因を考え、解決につながる情報を行い、実行できる	課題と背景をみきわめ、解決策を提案できる	課題の解決のために、自分の意見を出すことができる	課題の解決のために、自分の意見を出すことができる		